

## 財務諸表に対する注記

(令和2年度)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 会計基準

財務諸表は、「公益法人会計基準」に基づき作成しています。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法により償却しています。

#### (3) リース取引の処理方法

リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

なお、未経過リース料の増減額及びその残額は、次のとおりです。

(単位：円)

リース物件	前期末残額	当期増加額	当期減少額	当期末残額
協会車	429,000	0	257,400	171,600
FAX	0	9,715	9,715	0
ひかり電話	129,800	0	77,880	51,920
合 計	558,800	9,715	344,995	223,520

#### (4) 引当金の計上基準

##### ・退職給付引当金

職員の退職給付金の支給に備えるため、当期末において発生していると認められる額を計上しています。

なお、退職給付債務は、期末自己都合退職要支給額に基づいて計算しています。

##### ・貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しています。

##### ・賞与引当金

賞与の支給に備えるため、旧法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上しています。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

### 2. 基本財産及び特定資産等の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	2,317,000	626,720	648,000	2,295,720
合 計	2,317,000	626,720	648,000	2,295,720

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
周年記念事業準備資金	600,000	200,000	0	800,000
合 計	600,000	200,000	0	800,000

### 3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
研修助成金	(一財)日本消防設備安全センター	—	250,000	250,000	—	
合 計		—	250,000	250,000	—	

### 4. 担保にしている資産

該当なし